

図書館だより



武雄高等学校 図書指導部
令和元年 6月 28日発行

そろそろ雨が多くてじめじめする季節になりますので、あまり外出する気にならないでしょうね…。そんなときこそ、本を読んで静かに過ごしてみたいかでしょうか？^^ 今回もおもしろい本を紹介するので、ぜひ参考にしてみてください☆



◇新任の先生方のおすすめの本紹介◇



①江頭 徳親先生（日本史）

『代表的日本人』

内村 鑑三【著】／鈴木 範久【訳】（岩波書店）

<おすすめポイント>

内村鑑三が西欧に向けて英語で紹介した本。彼が世界に誇れる人物として5人をあげています。何か感じるものがあると思います。



②永石 匡純先生（数学）

『舟を編む』

三浦 しをん【著】（光文社）

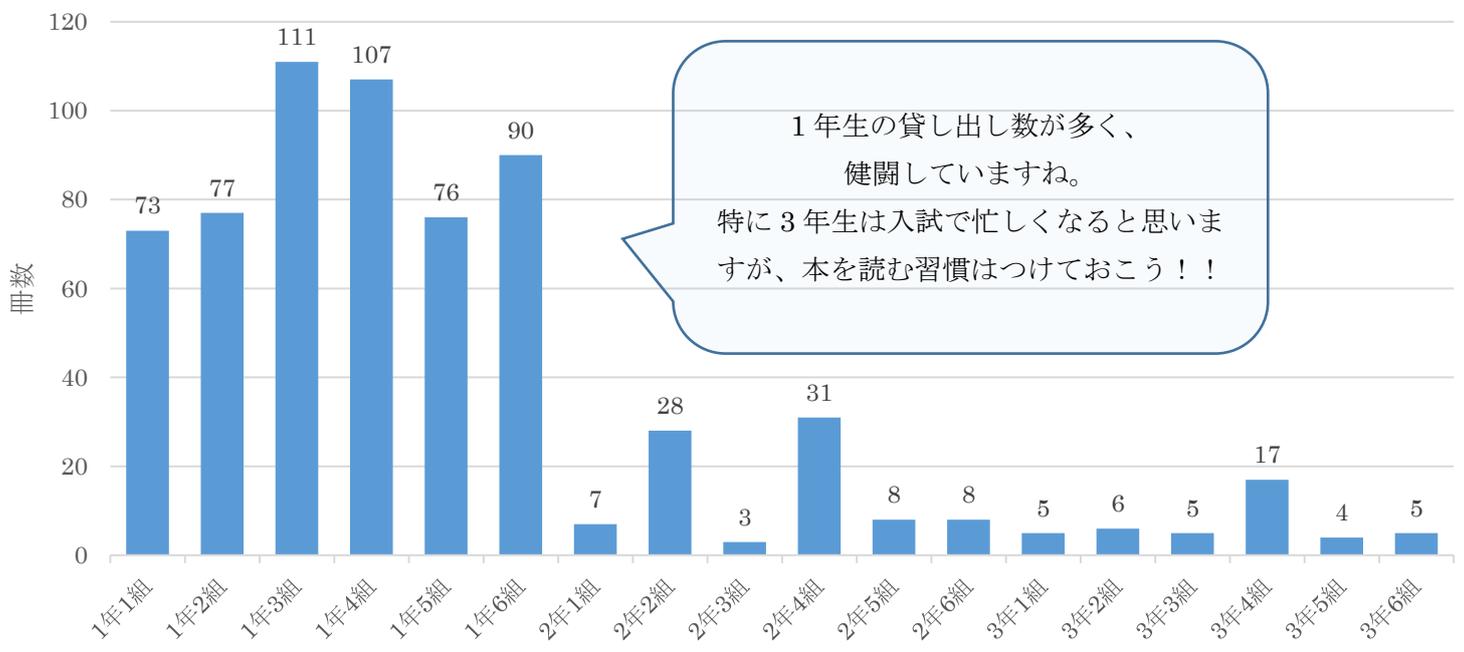
<おすすめポイント>

主人公の「ことば」に対する想いと、多くの人からサポートをうけて辞書作りをしていくという物語で、社会の縮図を見れると思いますよ。



クラス別貸出総数

※2019.4.1～2019.5.31 まで



《新着図書案内》

『こんなにも優しい、世界の終わりがた』

市川 拓司【著】 (小学館)

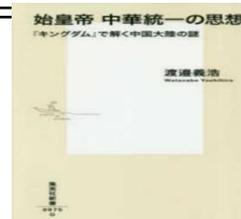
どうやら世界は本当に終わりを迎えるらしい。突然、世界が鉛色の厚い雲に覆われた。空から青い光が注がれた町は、人も獣も鳥も木も、なにもかも動きを止めてしまう。ぼくは、離れ離れになってしまった雪乃に会うため、危険な旅に出る。10年前、鉄塔の下で出会った彼女と初めて見た夕焼けを思い出しながら…。



『始皇帝 中華統一の思想』

渡邊 義浩【著】 (集英社)

現代中国の力の源泉は、14億という膨大な人口にある。では、なぜこれほどの人が暮らす広大なエリアを、中国の歴代帝国は何度も統一し支配することができたのか？そのような場所は、人類史上、中国大陸以外に存在しない。答えは初の統一帝国・秦にある。秦が採用した「法家」の思想と統治のノウハウが2000年にわたって引き継がれたために、中国は繰り返し統一されたのだ。では、法家とはどのような思想なのか。漫画『キングダム』では法家改革後の秦が見事に描かれている。本書では、『キングダム』に流れる地下水脈を、25点もの名場面を引用しながら縦横に解説する。



『慈雨』

柚月 裕子【著】 (集英社)

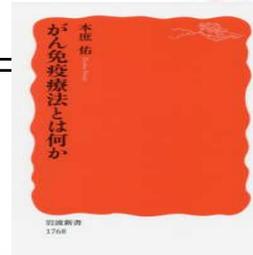
警察官を定年退職し、妻と共に四国遍路の旅に出た神場。旅先で知った少女誘拐事件は、16年前に自らが捜査にあたった事件に酷似していた。手がかりのない捜査状況に悩む後輩に協力しながら、神場の胸には過去の事件への悔恨があった。場所を隔て、時を経て、世代をまたぎ、織り成される物語。事件の真相、そして明らかになる事実とは。



『がん免疫療法とは何か』

本庶 佑【著】 (岩波書店)

PD-1抗体による免疫療法は、がん治療の考え方を根本から変えた。偶然の発見を画期的治療法の開発へと導いた著者の研究の歩みをたどりながら、生命現象の不思議、未知の世界に挑むサイエンスの醍醐味、そして「いのち」の思想から日本の医療の未来まで幅広く論じる。ノーベル生理学医学賞受賞晩餐会スピーチも収録する。



『恋愛中毒』

山本 文緒【著】 (角川書店)

もう神様をお願いするのはやめよう。—どうか、どうか、私。これから先の人生、他人を愛しすぎないように。他人を愛するぐらいなら、自分自身を愛するように。哀しい祈りを貫きとおそうとする水無月。彼女の堅く閉ざされた心に、小説家創路は強引に踏み込んできた。人を愛することがなければこれほど苦しむ事もなかったのに。世界の一部にすぎないはずの恋が私のすべてをしぼりつけるのはどうしてなんだろう。



この他にも多くの新着図書がありますので、ぜひ図書館まで♪長く延滞している人は返却 or 延長を!!!